

「郵便代節約のために日本語訳のページを4ページ以内に収めています。」 2023年 12月 25日 抄訳 垣内伸一 (Shinichi Kakiuchi)

***** Letter from the President 会長からの手紙 クリトルッペンタール *****

アロハメンバーの皆さん今年クパチーノに集まり楽しい時間を過ごしました。パフォーマンスのどれもが素敵でした。今号では祭りのさまざまなレポートや思い出を掲載していきますので見逃した方は次回のバーチャルフェスティバルでイベント中に録画したハイライトをご覧ください。理事会は来年の同時期に昨年と同じベイエリアでのフェスティバルの開催を決めました。これによりフェスティバルへの参加体験をさらに増やす機会が開かれます。フェスティバルには特別なテーマも用意される予定でそれは来年発表するタブや記事にも反映されいくつかの刺激的な情報が近々発表されるでしょう。父親のリッケンバックerフライパンを寛大に寄付していただいたジョセフィン・ジョンソンに敬意を表し改めて感謝したいと思います。収益は次世代のハワイアンスチールギター奏者の奨学金基金に寄付されました。長年活動的なクラブ会員のクリスケニソンがクパチーノフェスティバル期間中のルアウで行われた抽選会の幸運な当選者でした。これにより奨学金になんと4600ドルが集まりました。次に壊滅的な被害を受けたマウイ島のラハイナ地区では依然として救援の必要性が非常に高いです。寄付活動とロベルトのLPやCDの多くの販売を通じてフェスティバルでマウイ救済基金として778ドルを集めることができました。私たちはラハイナ在住のアルニップとともにこれらの寄付金を必要としている家族に送り返しました。募金活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。年末を迎えるにあたり寄付できる資金がまだ残っている場合はマウイ島の住民のことを念頭に置いていただけると幸いです。理事会は非常に忙しい一年を過ごし長期にわたるプロジェクトが完成に近づき/ニュースレターのアーカイブライブラリ/バーチャルフェスティバルの作成と開催/2024年の集会/HSGA T シャツやその他の商品を購入できるオンラインストアの開設/がされる予定です。また、古くなった規約の更新にも取り組んでいきます。奨学金プログラムに新しい学生が追加され継続されます。ご覧のとおり成長、適応、近代化を続けています。ご意見をメールでお送りください。マハロ

***** Maui/Lahaina Disaster Relief By Roberto Alaniz マウイ/ラハイナ災害救援 ロベルトアラニツ *****

2023年8月8日、マウイ島の西海岸にあるラハイナの町は、米国史上最悪の規模の山火事に見舞われました。火災はラハイナのダウンタウン地区を海岸線まで燃え広がった。少なくとも97人が死亡し数百人が避難して家を失った。火災はマウイ島の他の地域でも発生しましたが、ラハイナの火災は断然最悪でした。ラハイナはハワイの歴史の中で大切な場所です。ラハイナの公式の歴史によると「1802年カメハメハ大王はラハイナをハワイ王国の首都とした。彼はそこに邸宅や他の王室の建物とともにレンガ造りの宮殿を建て港のためにホノルルに永久に移転するまでラハイナは50年以上ハワイ政府の中心地として機能しました。」1873年保安官ウィリアムオーウェンスミスはカメハメハの最初の宮殿があった場所にインドのガジュマルの木を植えました。宣教師の息子であるスミス氏は王室の理由からではなく町の歴史によれば「ラハイナでの最初のプロテスタント宣教の50周年を記念して」これを植えたといいます。ラハイナはマウイ島を訪れる人や休暇を過ごす人にとって常に必見リストに載っています。町の広場にある巨大なガジュマルの木は目を見張るものがありました。自然災害と人為的災害は、どこで発生したかに関係なく常に人類に衝撃を与えます。洪水、火災、地震、竜巻、ハリケーン、戦争など、その原因が何であれ、私たちはそれらを深く感じます。これが真実かどうかは別として、それらは歴史上最も頻繁に発生しているように私には思えます。ラハイナの災害が発生したとき私たちが最初に考えたのはラハイナに住む長年の HSGA 会員であるアルニップとその家族のことでした。アルと家族が無事で火傷地帯のすぐ外にあった自宅が無事だったことを知り私たちは安心しました。壊滅的な火災の前にアルさんはクパチーノで開催される2023年のフェスティバルへの参加にサインアップしていた。率直に言って、私たちはアルがまだ出席できるかどうか確信が持てませんでした。そのため彼が出席することを確認したときは私たちはとてもうれしく思いました。私たちは皆アルとその妻デールがクパチーノに来てくれたことに感動しました。彼らにとっても少しでも休息が得られれば幸いです。泣かずに演技ができるようになり始めたところだと彼は語った。アルはいつも私たちの集まりでお気に入りのミュージシャンで今年ラハイナを讃える非常に感動的な音楽を演奏してくれました。デールさんもフラダンスを披露してくれました。多くの HSGA 会員にとってラハイナ火災はハワイとラハイナに対する音楽的、感情的な愛着のためもう少し個人的なものかもしれません。このため組織として何らかの形で支援したいという私たちの思いは強く明確です。火災直後私たちはハワイの救援団体への寄付方法に関する情報とリンクを HSGA のウェブサイトに掲載しました。フェスティバルを計画する際マウイ島とラハイナを称えるテーブルをいくつか設置し参加者からの寄付を受け入れることも決定しました。マウイ/ラハイナの記念テーブルには募金箱が設置されており出席者は寛大な態度を示しました。私はハワイアンミュージックの CD とアルバム(の制御不能な)コレクションの一部を 2 番目のテーブルに寄付しました。これらの録音の販売による収益はラハイナ救援団体と HSGA 寄付金で折半されることになっていた。私が75歳の誕生日を迎えるにあたり妻は私のハワイ音楽コレクションの「喜びを他の HSGA

会員と分かち合い」始めるよう勧めてくれました。言い換えれば、「あなたがなくなった後このようなことをすべて私に任せないでください」ということです。2つのテーブルの間でラハイナ救済のために779ドルを集めました。寄付して下さった皆様、マハロ。フェスティバル中にアルニップと話をしたところアルが資金の分配方法を決定するのに最適な立場にあることがわかりました。長年ラハイナに住んでいるアルさんは地域社会に深く根ざしており、火災の結果、家や仕事、収入を失った多くの個人や家族を知っています。アルはこの責任を引き受けることに快く同意してくれました。以下は、HSGA 寄付金の使用に関するアルの報告書です。「... 貧しい家族のための資金集めにご協力いただき、本当に感謝しています。寄付金の分配方法は次のとおりです。ワヒクリ地区で家が火事になり全財産を失った夫婦に350ドル。彼はナピリカヌークラブのヘッドコーチであり、ラハイナルナ高校のアシスタントフットボール コーチでもあります。彼らには3人の息子がおり、1人は働いており、2人目はUNLVフットボール チームに所属し、3人目はラハイナルナ高校の3年生です。300ドルから ... シングルマザーは年収30000ドル未満のテニスプロとしての仕事を失い、彼女と両親はラハイナの家を失い、彼女には3人の息子がいます。1名が加入したばかりです。1人目は家族を助けるために海兵隊に入隊したばかりで、2人目は父親と一緒にいて家族の負担を減らすためにスペインに移住し、3人目はラハイナルナ大学の2年生だった。彼女の父親は今週ホスピスに入院したばかりだ。彼は数週間前までは元気でした。彼はベトナム戦争に従軍し、戦火の中をテト攻勢で戦うのと似ていた。地元のビジネスオーナーに129ドル。彼と彼の会社は、トラック、バン、フォークリフト、物資や私物を入れた輸送用コンテナ3個を含む基地ヤード全体を失いました。これは多くの資産を焼失させた2回目の火災です。2回目は本社倉庫が焼失したことです。」この情報を共有してくれたアルに感謝します。マウイ島とラハイナを支援するために寄付したい場合は次のいずれかの団体を検討してください。マウイフードバンク、ハワイの山火事、赤十字、マウイ島とオアフ島の山火事の被害を受けた家族や地域社会に支援を提供しています。

****** HSGA Cupertino Festival Highlights By Roberto Alaniz HSGA クパチーフェスティバルのハイライト ロベルトアラニツ ******

HSGA には会員および非会員を対象に毎年音楽フェスティバルを開催するという長い伝統があります。目的は/ハワイアンスチールギターの演奏の促進/お互いの音楽スキルや才能の共有/楽器の継続的な学習の奨励/新会員の募集です。今年は機会を利用してラハイナの大部分を破壊した最近の山火事の犠牲者を追悼しました。マウイ島とラハイナ専用の特別な展示テーブルを用意し救援活動を支援するための寄付箱も設置しました。私は自分のレコードと CD コレクションの一部をこの運動に寄付しました。録音の販売による収益はラハイナ救済と HSGA に分配されました。寄付金と販売収益を合わせた総額は778ドルとなりました。フェスティバルは古い友人と集まり、近くや遠くから新しい友人を作る機会です。いくつかの新しいリック、曲、チューニングを学ぶこともできるかもしれません。伝統的に有名なハワイアンスチールギタリストが主要ゲストとしてフィーチャーされ、今年はハワイ出身の新進気鋭のボーカリスト兼スチールギターアーティストのマリエライマンさんにお会いしお話を聞くことができ楽しかったです。マリエは歌手ポーマイカイケアヴェの娘であり伝説的なジェノアケアヴェおばさんの曾孫娘です。現在19歳で10年以上前に先生のアランアカカからハワイアンスチールギターを学び始めました。現在大学生で音楽の分野でのキャリアを追求しています。

***** ALAN AKAKA AND MALIE LYMAN WRAPPED UP THE AFTERNOON アランアカカとマリエライマンが午後を締めくくる *****

マリエとアランは二人ともスチールギターを演奏しギターはビルウィン、ウクレレはジャスティンフィルムザ、アップライトベースはミキヤマツダが担当した。マリエは曾祖母のジェノアケアヴェからその声の質を受け継いでいます。ボーカルは甘くスチールギターの演奏はスムーズで明らかに演奏スタイルは教師アランの影響を大きく受けています。幸運にもルアウディナーショー中だけでなく午後全体を通してフラダンサーの出演が見られました。その中には中国北京市出身のシンディヤンや地元のフラダンサーによる楽しいパフォーマンスも含まれていました。ダンサーのためにアランと音楽を調整してくれた HSGA メンバーのランディーチンに感謝します！フェスティバルの献身的なボランティアに心より感謝いたします。ランディーチン、テリーゴーマン、ナンシーアレグリア、リアンフジモト、ジーンスカイブルック、ルアウサーバーのシズエソウザ、ジェニファージョー、リアナオリフ、そしてジムカベッジ。重いステージフロアのセットアップを手伝ってくれたクリストルペンタールにさらに感謝します。さらに、部屋のセットアップ、撤収と片付け、コーヒーの追加など、必要に応じて積極的に協力してくれたメンバー全員に感謝します。

****** Our Scholarship Students Performed in Hawaii This December 私たちの奨学生 今年 12 月にハワイで公演 ******

アロハ HSGA メンバー！HSGA 奨学生は12月14日から17日まで開催された第5回ハワイ島スチールギターフェスティバルで演奏しました。HIMELE が後援する毎年恒例のフェスティバルにはアランアカカの演奏だけでなく多くの最高のプロ プレーヤーと次世代の生徒たちが出演しました。パフォーマンスを行った次世代の生徒5人のうち4人は HSGA 奨学生でイザベラベルテルマン、ハイイポリンゼイ、エノサライマン、マカマエリユナポレオン。パフォーマンスはFacebookとYoutube でライブストリーミングされました。ケクラメの次世代スチールギターの生徒たちがオープンステージとカラファイプアアのトワイライトでフェスティバル参加者を楽しませるために演奏しました。

***** “Carefree” By Phill Walker 「ケアフリー」について フィルウォーカー *****

ケアフリーは1938年にアンディ アイオナ&ヒズアイランダーズによって書かれ78回転として最初に録音されたゆっくりとしたワルツ曲です。「アイランダーズ」のラインナップには、ジョージ“タウトゥ”アーチャー、ハリー ベイティ、ハリー エヴァンス、ジョーナワヒ&サムコーキが含まれていました。アンディアイオナとジェリーバードの両方をフィーチャーした最新のバージョンでは二人の巨人のスティールギタースタイルが見事に表現されていてYouTubeでご覧いただけます。私がこの曲を初めて知ったのはブルースクラークの素晴らしい「ハワイアンホットショット」コースを使ってスチールギターを始めたときでした。ブルースはオーストラリアのラップスティールギタリストで、トレーニングコースとカムカンレコードのリリースを通じてハワイアンスタイルの音楽「ダウンアンダー」を広めました。私は1997年に亡くなる前にブルースと話すことができ幸運にも彼のハワイアンアレンジメントのコレクションと彼のドブログターを購入することができました。次のページのアレンジメントはブルースクラークに基づいておりGからEbにキーが移調されGキーに戻るのが特徴です。

*** MALIE PROVIDED US WITH THREE EXCELLENT SETS マリエが3つの優れた演奏セットを提供してくれました ***

この中にはフェスティバルの3日間それぞれに、アラン、ビルウィン、マークブルーチャ、マークカハレクル、ミキヤマツダを含むバックミュージシャン/ボーカリストによるルアウディナーショーが含まれました。毎年恒例のHSGAフェスティバルは1980年代半ばに始まりイリノイ州ジョリエットで約25年間開催されました。フェスティバルの開催場所は毎年恒例のイベントに必要な組織化と物流作業を行う能力と意欲のあるメンバーによって主に推進され、その地域に住んでいたHSGA理事の中核メンバーのおかげで2014年に会場がコロラド州フォートコリンズに移転し新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより公共の集まりが2年間閉鎖された2019年まで私たちの本拠地でした。2022年8月カリフォルニア州フォスターシティのクラウンプラザホテルでフェスティバルを再開しました。2023年のフェスティバルにはカリフォルニア州クパチーノのオッドフェローズホールが選ばれました。この会場はいくつかの理由から数人の新しいHSGAメンバーによって提案されました。サンノゼ/クパチーノ地域にはかなり多くのハワイ人が住んでおりオッドフェローズホールではすでに毎月のカニカピラジャムセッション、フラとウクレレのクラス、時折のハワイアンミュージックコンサートなどのコミュニティイベントが開催されています。アランアカもフェスティバル直後の9月24日にホールでハワイアンスティールギターシンポジウムを開催していてクパチーノホテルもホールから徒歩圏内にあります。これらすべての要因により2023年にこの会場を試すという決定に至りました。戦略の1つは、他のハワイの文化イベントの参加者を活用することで一般参加者を増やすことでした。土曜日のホオラウレアの聴衆には多くの新しい顔が見られ戦略と宣伝がかなりうまく機能したことがわかりました。フェスティバルは9月21日木曜日12時半に年次総会から始まり会長は2022年から2023年にかけての理事会と協会の活動と成果について報告しました。協会のリブランディングとマーケティング活動を支援するために開発されたデザインコンテンツに関してエリックリンダルによるビデオプレゼンテーションも行われました。新鮮な外観が会員にとって魅力的となり新しい聴衆を引きつけ最終的にはHSGAの新会員の獲得に役立つことを願っています。

***** Lunch with Bobby III By Roberto Alaniz ボビー三世とランチ ロベルトアラニッツ *****

3年前ボビーは私にピッキングの指は以前のように機能しなくなり夜間の運転はますます困難になりおそらく最後のライブで演奏してきたばかりだと語りました。この宣言の後私たちは定期的にランチに集まるようになり、ボビーはいつもレコーディングセッションをするか特別なライブをするように頼まれた最近の電話について話してくれました。最初は断りますが最終的にはその仕事することに同意します。「とてもしつこいのでどうしても断れず、私を迎えに来てライブに連れて行って家に連れて帰るとさえ申し出てくれました。」3年経った今でもこのことは続いており、最近演奏に出かけたときのことを聞くと私はただ微笑みます。ほとんどのミュージシャンは生涯を通じて音楽を演奏したいと願っており、ボビーが今でも好きなことを続けられることを嬉しく思います。もう長時間演奏したり以前のように速くピッキングしたりすることはできませんが、彼の生涯にわたるスティールギターの演奏とC6チューニングに関する深い知識は演奏を聞くたびに輝きを放っています。私の最初の「ボビーとのランチ」の記事でボビーのザファイブウィスパーズというアーティスト名での『ザミッドナイトサン』の録音が1960年にドルトンレコードレーベルで録音されたと述べたことを思い出してこれがボビーの最初の仕事だと思っていました。最近ボビーは私の思い込みを修正し彼の最初のレコーディング契約の取り組みに関する背景情報をもう少し提供してくれました。彼はドルトンのレコーディングに先立ち弟のラリーと一緒に23の録音を収録したテープを編集していたことを思い出します。彼らはオープンリールテープをハリウッドに持って行きレコード会社を探し回ることになりました。彼らは事前のアポイントも取らずにサンマテオの自宅からハリウッドまで車で向かいました。彼らは到着すると電話帳でレコード会社を検索しました。彼らが電話をかけた大規模で有名な企業のほとんどは彼らの録音を聞くことに興味を示しませんでした。幸いなことに、ブラック兄弟のバンドのドラマーがルーベデルと「知り合い」でボビーに電話番号を教えてくれていて、ドールレコードに所属してくれました。電話すると留守番電話

がハリウッド大通りからすぐの脇道にあるアパートにあるオフィスの住所を教えてくださいました。ブラック兄弟はアパートのドアをノックし、彼らを出迎えたのはバスローブを着た不機嫌そうなベデルだった。彼の挨拶は「はい、何が欲しいの？」でした。少年たちは訪問の目的を説明しベデルさんは彼らを招き入れて歯を磨き始めた。ベデルは23曲の録音の中から最高の曲を選んで聞かせてほしいと彼らに頼みました。お気に入りを選ぶのは難しいというのでベデルはテープをオープンリールレコーダーにロードし各曲のイントロまたは最初の8小節を再生し次々と早送りしながら録音をざっと確認しました。テープの最後の曲はボビーのスチールギターをフィーチャーしたインストゥルメンタルでした。ベデルが曲名を尋ねるとボビーは「名前はまだない」と答えた。一度帰ってその日のうちにまたくるようにいわれ2度目に行くレコーディング契約書があり彼らは署名しました。最後の曲に「ジェントリーマイラブ」という曲名をつけました。つまりボビーブラックによる最初の商業レコーディングはドーナレコードからのアーティスト名ザトリプレッツの「ジェントリーマイラブ」タイトルでした。ボビーはバイエリアの地元ラジオ局で自分たちの録音が再生されるのを聞いたときの興奮を今でも覚えています。レコードのプロモーションの一環としてベデルはバイエリアでコンサートを行っていたチャビーチェッカーの前座としてトリプレッツを起用しました。ブラック兄弟が番組の出演料はいくらになるのかと尋ねるとベデルは笑いながら給料はないと言いましたのでドーナレコードとの契約を切りました。ラジオ局はほぼ即座に「ジェントリーマイラブ」の放送を中止した。それが興行ビジネスだ！

***** Hula Club In Switzerland By Beat Iseli スイスのフラクラブ ビートイセリ *****

10月3日よく晴れた火曜日のことでした。ベースのヨルグゲルハルト、アコースティックギターのジャックヒートン、そしてスチールの私からなるトリオ、ハワイアンギタードリームズがバーゼルのフラクラブでの演奏に向かうためヴァンタートゥールの電車に乗りました。私が最近知る限りではフラクラブはスイスで毎週火曜日にハワイアン音楽が演奏されている唯一の場所です。このクラブは素晴らしいスチールギタリスト、ウォルターローストと85歳のウェルナーグンツとルエディクンツ兄弟を擁し40年代後半から50年代にかけてスイスとドイツで大流行した有名なクインテットフラハワイアンズを思い出させます。そして今も活動中。彼らは「ヒロ マーチ」と「フラ ムーン」のバージョンで大ヒットを記録しました。彼らについて詳しくはジョンバーガーとジョージカナヘレの百科事典の歴史: ハワイアンミュージックとミュージシャンをご覧ください。クラブに着くとクラブのマネージャーであるエスターソランド氏と現在もフラハワイアンズのオリジナルメンバーであるウクレレ奏者で歌手のルエディクンツが参加している現在ハワイアンメモリーズと呼ばれているバンドのスチールギタリスト兼音楽監督であるハインツハーグが温かく迎えてくれました。機材をセットアップしハワイアンメモリーズのアンプに接続しマイクをチェックした後短いサウンド チェックを行いました。ハインツハーグと同じアンプのセットアップを使用しエコーを深くしました。最初のセットはハワイアンメモリーズによって演奏されハインツハーグがヒロマーチやその他のスチールインストゥルメンタルでスチールギターのスキルを見事に披露しました。ルエディクンツは「ワイキキのビーチで」や「リトルグラスシャック」など50年代後半から60年代にすでに演奏していた曲を数曲歌いました。彼は上機嫌なユーモアを発揮しビンテージのマーティン ウクレレを元気よくかき鳴らしました。彼らのセットが終わったら今度は私たちがプレーする番になりました。ほとんどの曲では私が最も快適に感じる C6 チューニングを使用しました。ボビーインガノの最初の CD を聴いて覚えたバージョンのフラブルースから始まりサントとジョニーのスリープウォークが続きました。HSGA のトランスクリプトに基づいて練習した「ハワイアンウェディングソング」は少し戸惑いましたが最初のボーカル曲「ソフィスケイテッドフラ」はとてもうまくなりました。次にジャックがマールトラヴィスの好意でスチールギターラグの長いイントロを演奏する番になりました。私のスチールパートはジミーデイが聴いた古いバージョンから来ました。予想していたほど緊張しませんでした。これは間違いなく音楽を楽しんでくれた非常に受容的な聴衆の前で演奏したという事実によるものです。最初のパートは B11 チューニングの2つのインストゥルメンタル、ジェリーバードの指導コースからのハウドゥヤドゥとサンドで終わりました。ビールを数杯飲みながらおしゃべりした後、私たちはセントルイスブルースの独自アレンジを続けジャックヒートンがアコースティックギターでピッキングの妙技を披露しました。ジャックのウクレレ演奏で一曲ヘネヘネココアカも演奏しました。2015年に私がアランアカカのケクラメ音楽学校で最後に授業を受けたときにアランアカカが私に紹介してくれました。私が試したヴァンプのほとんどは大丈夫でしたが全てではありませんでした。ごめんなさい、アラン！この点はまだ改善する必要があります。私たちの最後のインストゥルメンタルは古いジャズ曲のバージョンでした。ライムハウスブルースではジャック、私、そしてヨルグがベースギターでラフに演奏し聴衆から大きな拍手を受けました。もちろんアンコールはハワイの国歌「アロハオエ」で終わりリスナーの何人かは静かに一緒に歌っていました。最後は近くのホテルに戻るまでハワイ、その美しい音楽、スチールギターの詳細についてたくさんおしゃべりしたり情報交換したりしました。フラクラブはドイツとフランスの国境にあるスイス第3の都市バーゼルにある小さな場所ですがハワイアン音楽が今でもこの国で聴けることを嬉しく思いました。私たちにとってこの音楽とスチールギターを高く評価してくれる聴衆の前で演奏できたことは素晴らしい夜でした。アロハ！